

# 教育の現場から



千葉大学には学部、大学院合わせて1万5千人を超える学生があり、学業や研究活動はもちろんのこと、アルバイトに部活やサークル、課外活動など、さまざまなキャンパスライフが繰り広げられています。

近年は、学生が積極的に地域や社会に対してアプローチをする活動も増えていきます。これは、世の中で話題になっているさまざまな社会問題の解決に自ら取り組むこととする意識の高い学生によるものです。

例えば、キャンパスの周辺地域を舞台に街の活性化に取り組む学生プロジェクトがあります。駅前や毎月、地域の商店主や事業者、一般住民、県

## キャンパスライフ

プロシードジャパン・吉川亮さん  
代表取締役



吉川 亮氏（よしかわ・りょう） 1982年千葉市生まれ。2008年千葉大学大学院自然科学研究科像科学専攻修了。09年プロシードジャパンを設立し、同社代表取締役。学生とのプロジェクトで起業前から長年にわたって多くの千葉大生と関わる。

# 多様なチャレンジの場

内農家などが出店する市を開催し、街のにぎわいや住民同士のつながりを創出する活動です。この活動には、経済や総合政策、都市環境システム、教育といった学部学科を超えた学生が集まり、そ

また、地域の小学生を大学に集めてワークショップやキャンパスを実施する活動もあります。これからの教育のあり方について学生が主体となって議論をしながら、教授や地域住民、教育現場に携

そのほかにも、自分の価値観を広げる世界が大学内外を問わず存在して

それぞれの専攻する学業、研究分野の知識を活用しながら実際の社会に生かされています。

得てイベントを企画して

います。例えば、周辺に立地する特徴ある店舗は貴重な存在です。

古くから営業している定食屋、アートの特化した古本カフェ、ジャズ音楽の流れるバー、その他ライブハウスやスポーツ施設など、これらは世界観や仲間との関係をも深めてくれる空間であり、

す取り組みを進めています。さらに地域住民を巻き込んでの異世代間交流の中からさまざまな社会につながる学びを得ています。

大学内でも、先輩学生らが後輩が充実した学生生活を送れるよう、支援をしている例もあります。普段の生活相談からボランティアのあっせん、聴覚障害のある学生の受講支援、就職活動の相談会開催など多岐にわたって学生が自主的に取り組んでいます。

大学周辺で学生らが開く土曜日。地域のにぎわいへ、住民同士の交流の場などの役割を担う



そういったところへ一歩踏み出せば、お店の方々の関わりも含めて学業や研究活動とは一味違った、学生生活に彩りを与えてくれるような貴重な時間が過ごせます。そこから刺激を受け、長期休暇を使って世界や日本を

一周したり、国内外を問わずボランティア活動に参加する学生もいます。多種多様なチャレンジができる場所と、それを支えてくれる人々が千葉大学のキャンパスとその周辺には存在しているのです。